

Webマーケティングツール「MIERUCA（ミエルカ）」に、

人工知能がWeb記事の改善点を提案する『AIで改善』機能を追加

～実装したビズリーチ社のメディアでは、流入が250%改善した例も～

企業のWebマーケティングを支援する株式会社Faber Company（ファベルカンパニー／本社：東京都港区、取締役社長COO：稻次正樹）は8月1日、自社開発のWebマーケティングツール「MIERUCA（ミエルカ）」に、人工知能（AI）がWeb記事の改善点を提案する『AIで改善』機能を追加したことを発表します。

サイト改善にはデータ分析が必要ですが、時間やスキルの不足により、十分に取り組めていないWebメディア／サイト運営者は少なくありません。そこで同機能では、サイト内の各ページに対する流入キーワードの中から、検索ユーザーがより知りたいであろう「特徴的なトピック」をAIが推定、自動で提案。その提案に従って記事のタイトル、本文、構成を改善した後の「流入・CV数」までワンクリックで予測できるため、サイト運営における意思決定が容易になり、ページ改善の時短・コストダウンが実現できます。

『AIで改善』リリース詳細はこちら

<http://mieru-ca.com/blog/20170801ai/>

■新機能『AIで改善』でできること

事前にミエルカに登録しておいたサイトを『AIで改善』にかけると、①～③が表示されます。

- ① 対象サイトから「どのページを優先的に改善すべきか」を自動で分析・提案。
- ② 対象ページ内のタイトル、本文、構成のどこをどう改善すれば、検索ユーザーが知りたい内容になるかを具体的に提案。
- ③ ミエルカが提案する改善を行った後の、対象ページの流入・CV数を自動で予測。



■『AIで改善』開発の背景（Faber Comapany 取締役CRO／ミエルカ開発責任者 副島啓一）

1：サイト運営者のスキルによらず、「意思決定」と「アクション」をしやすくするため

世の中には流入数や順位といった「状況観測」ができるツールはたくさんあります。しかしそれらのデータ分析は非常に時間がかかる上、施策の決定は知識と経験がないと難しいものです。健康診断の数字だけ渡されても、日常生活をどう変えれば病気のリスクが減らせるのか、わからないのと似ています。そこで、サイト分析ができる限り自動化し、サイト運営者のスキルによらず「意思決定」と「アクション」ができるよう、ミエルカに『AIで改善』を実装しました。『AIで改善』は、現在のページに欠けている材料を、AIが自動で分類して集める機能です。具体的な改善案に加え、改善後のCVや流入数まで予測できるので、サイト改善における優先順位、費用対効果を見極めやすくなります。

2：「今現在のユーザーの検索動向」に応えた情報を、ページに反映できるようにするため

特定の言葉が世の中に浸透する前は、「〇〇とは」など、言葉の意味を解説してもらいたいユーザーが多いものです。一方で、その言葉・概念が世の中の大多数に知れ渡った後では、Web上で求められる情報も細かく変化します。『AIで改善』があれば「今この瞬間に検索ユーザーが知りたがっている内容」に合わせてタイトル、本文、構成を改善できるので、的確にニーズに応えることができ、結果としてGoogleなどの検索エンジンにも評価されやすくなります。

■ビズリーチ社のメディアで実証。『AIで改善』の提案を反映したページで、流入が250%改善した例も

2017年11月からミエル力を導入した株式会社ビズリーチの人事担当者向け専門メディア「BizHint HR」では、先行して『AIで改善』機能を実装しました。「リファラル採用」に関するコンテンツで、ミエルカのAIが提案した改善を実施した結果、検索順位が5位→1位（2017年7月現在）になり、セッション数が250%改善しました。



※概要をまとめた冊子も同封いたしました。ご参照ください。

■MIERUCA（ミエルカ）とは

人工知能（AI）の一分野である「自然言語処理」を応用し、検索ユーザーのニーズを抽出・分析、評価されやすいコンテンツづくりを的確に支援するWebマーケティングツール。クラウド上で「自社サイトの改善すべきページの抽出」「ライバルサイトとの差異の発掘」など、主にWebコンテンツ改善に活用できる機能が豊富。株式会社Faber Companyが10年以上経験を積んだSEO・コンテンツマーケティングのノウハウをシステム化し、

2015年3月に産学共同でリリースした。導入企業は500社以上にのぼる。開発メンバーには、ウェブアナリストで当社CAO（Chief Analytics Officer）・小川卓に加え、国立大学豊橋技術科学大学情報・知能工学系の吉田光男助教、明治大学理工学部情報科学科・高木友博教授、東京大学情報基盤センター・中川裕志教授ら、人工知能の権威が加わる。ソフトウェア特許を申請中。

■Faber Company（ファベルカンパニー）とは

<https://www.fabercompany.co.jp/>

「日本の職人技と先端テクノロジーの融合」をコンセプトに、企業のWebマーケティングを支援。2005年の創業以来、クライアント企業のSEO施策、PPC（リスティング）広告運用、コンテンツ制作などの事業を展開。2013年からWebマーケティングツール「ミエルカ」の自社開発を開始。国立大学法人豊橋技術科学大学との共同研究を皮切りに、明治大学、東京大学との産学連携で、Webマーケティング分野への人工知能の応用研究に力を注いでいる。

会社名： 株式会社Faber Company

所在地： 〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-4 森崎ビル4階

代表者： 取締役社長 COO：稻次正樹

資本金： 1億円

設立： 2005年10月24日

事業内容： MIERUCA（ミエルカ）事業、コンサルティング事業、サイトM&A事業

URL：<https://www.fabercompany.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社Faber Company（ファベルカンパニー） 広報担当：井田（いだ）

直通：090-4169-9767 TEL：03-5545-5230 pr@fabercompany.co.jp